

CONTENTS

- 旧滝井幼稚園のメモリアルコーナー設置(2面)
- 初の「枚方市内大学学長・市長懇談会」開催(3面)
- 高校囲碁チャンピオンの山本さんを紹介(6面)

編集手帳

▽生活様式の変化に伴って、身のまわりから伝統ある品々が数知れず消えた。「ふろしき」もその一つ。いまでは、ふろしき包みを持ち運ぶ姿でまず思い浮かべるのは道具屋さん(骨董店)などわずかに残る百貨店でふろしき展があり、改めて実用美(日用品の保護に優れ、持ち運び自在)と装飾美(さまざまな染料による染色技法や新鮮な文様と構図など)に感じ入った。会場は盛況で、若い女性らの姿も多く、なにやらうれしくなった。生活の潤いのためと省資源化に、ふろしきをもっと積極的に蘇らせたいものか。マフ包みやお使い包みのほか、ピン包み、隠し包み、巻き包み、ひっかけ包み、スイカ包み。早速に買い求めて、多様な包み方を「練習」中。簡単なようでも、モノと場所に応じた包み方が身につくには時間がかかりそう。(宗)

GLOBAL MIND

グローバルマインド

発行/学)大阪国際学園広報室
〒570守口市藤田町6-21-57
☎06(902)0787(代) FAX06(902)8961
Eメールkoho@hq.oiu.ac.jp

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 大阪国際女子大学(OIUW) 大阪国際女子短期大学(OICW)
大阪国際滝井高等学校(OITH) 大阪国際大和田高等学校(OIOH)
大阪国際大和田中学校(OIOJ) 大阪国際大和田幼稚園(OIOK)

就職協定廃止元年を顧みて

≡ 国際大、女子大・短大就職室長の座談会 ≡

就職協定が24年ぶりに廃止され、ことしは協定廃止元年になります。内定解禁(10月1日)を機に行ったある新聞の調査では、企業の5割強が廃止を肯定的に評価する一方、4割が見直しを必要論だった。協定廃止は大学キャンパスにもさまざまな余波を及ぼしているといわれるなか、本日は実際の学生の就職指導に当たり、企業開拓に日々奮闘されている大阪国際大学の田中祥夫就職室長(事務局次長)と大阪国際女子大・短大の近藤徹就職室長(女子大教授)にお集まりいただき、本当のところ従来に比べて何が変わり、何が変わらなかったのかなど協定廃止元年を総括し、次年度以降の対策・対応につなげていただきたいと思っています

(司会・広報室長 藤江宗一)

早期化・長期化

――まず、協定廃止下の'97就職戦線を振り返る多岐調査がにぎやかだが、一方の当事者としてどう受け止めるか

田中室長 1年間指導日程の変更や企業訪問の繰り上げに追われて、落ち着いた対応ができなかった。反省する面もあるがもう少し様子をみる必要がある。

近藤室長 協定廃止になったが、実際はそれほど影響が出ていないようだ。手持ちの調査結果では、廃止の効果は総じてプラスが28%、総じてマイナスが4%、どちらともいえないが68%。これを見ると結論がでない状態。大企業は早々に充足できてプラスだったが、中小企業は求人難に陥っているところが出てくる。採用がかなり

早期化、長期化していることは間違いない。

――中小企業は、当初から協定廃止を危惧していたようだが

近藤室長 中小企業に限らず危惧していた企業は多い。しかし、来年度以降協定を復活する動きにはならない。むしろ今は就職難だが、今後は労働人口も減り、求人難になっていくだろう。

田中室長 内定率はともあれ、就職決定率は低い。大手の私立大学でも内定は8割、しかしそこへいくと決めているのは4割しかない。国際大でも同じ状況である。

――それは、学生らが就職の長期化でチャンスがあると思うようになっただけか

田中室長 大学が学生に誓約書を出すのを慎重にしなさいと指導し、学生もそれに気付きた背景がある。

近藤室長 大企業に決まればそこに就職を決定するが、どうしようかなと思う中小企業を何社か受けているときは内定をとつても進路を決定しない場合が多い。

――協定廃止元年であり、企業の対応、出方の変化が本場に見えてくるのは何年後か先になるのか

田中室長 なんとも言えない。ただ充足できない企業は3月いっぱい採用活動を続けるだろう。そうすると新4回生の採用とダブリ、1年中窓口が開きっぱなし。採用担当の人

大学院申請 面接審査など終える OIU

来春開設予定の大阪国際大の大学院「総合社会科学研究所」の設置申請は6月に終え、その後面接審査などに出席し、審査結果に基づいて12月の認可通知を待つことになる。



熱く語り合う田中室長(右)と近藤室長

――協定廃止に備えた今年度の取り組みと結果について

田中室長 3回生の就職ガイダンスが年末実施だったのを、7月末に行った。それでもまだ遅かったかなという感じ。求人のお願いと大学案内送付は、例年春の連休明けに行っていたが、今年は4月早々に送った。これももっと早めた方がいい。ところがスケジュールを早めると、学生の準備ができていないからついてこれない。

近藤室長 女子大・短大に関しては例年10月に始め、今回も同時期から実施。予想された早期化、長期化、多様化のうち早期化にまず対応しないといけない、と進路調査票を1月に取った。例年よりも早く取ったが、学生の意識がついてこなかった面もあった。また、例年5月実施のOGシヨプスを3月に行った。これは学生の意識向上に良かった。しかし、短大

変わらなかった採用方法

――企業側の、従来にない明らかに変化に対応の動きは

田中室長 目に見えてわかるものはない。要するに協定があってもなくても同じだということ。企業は従来のやり方を根本的に変えることはなかった。

近藤室長 これまで10月1日から内定だったというのが、堂々と採用しているというところが明らかに変わった。ただ、根本的には違っていない。

田中室長 企業も来年から中小企業を中心に対応が変わってくると思う。

今年の中小企業のセミナーの時間帯が「随時」となっているのがほとんど。これはセミナーを実施しても、人数を確保できる見込みがないからだ。

――企業の中途採用が増えるという声があるが、これも協定廃止とからむ話ですか

近藤室長 直接には関係ない。ただ昨年、昨年度の企業の変化はそれまで退職を見越して多めに採用していたのが、人材派遣などで埋めたり、キャリアのある転職組で埋めるようになってきたのが少し影響している。

田中室長 最近の若い人は不満があつてやめるというのではなく、将来の生き方を見据えた時に、この仕事ではマッチしない、だからそういう生き方に合う職業に転職する。企業も「そういう人がいれば待ってますよ」という採用の仕方に成算ありと思っている。

――企業にとつても社内でも異業種の人材を育てるより、外から採用したほうが早い?

近藤室長 中途採用の話は、協定廃止よりも労働者の価値観の変化にある。今後も増えるだろう。

田中室長 だけど、資格や技能を活かして就職する学生は3分の1しかない。3分の2の学生は社会に出てから仕事に必要な技能と資格を身につける。

近藤室長 企業に入ってから自分の専門分野が決まってくるのが多い。ゼネラリストからスペシャリストに変わっていくということ。日本ではまだ就職というよりも、就社になっている。

――今現在の内定率と今後の学生への指導・アドバイスは

田中室長 OIUの内定状況は75%。しかし決定したという学生は3%。その中の約半分、中には内定をもらったが、誓約書をだせといわれて内定をこわった学生もある。

近藤室長 女子大・短大はかなり厳しく、深刻に受け止めている。しかし採用は厳しいが、求人の数は着実に増えてきている。すでに去年のトータル(求人)をオーバーしている。まだまだがんばり続けて欲しい。

両大学就職室長対談

(1面から続く)

まだあるチャンス、よく相談を

―決まっていなくても学生には従来と異なるアドバイス等があるのか

近藤室長 自分の人生観をきちっと持ち、その上で活動を進めること。それからまだ夢を追っている学生がいたら、現実的に目を向けてもらいたい。積極的に活動して欲しい。新聞の記事に惑わされるな(求人倍率など)。自分の考えを持って積極的に活動すればチャンスはまだまだ十分にある。こういったアドバイスをしている。



田中室長



近藤室長

もらおうと考えている。保護者と教員、就職のきめ細かい対応をしたいと考えている。

田中室長 一流企業に入れる力をつけて欲しい。そのために、筆記試験(論文文)対策に力を入れようと考えている。3回生向けに就職講座などをかなり細かく設定して、毎月1、2回は開催していく。

近藤室長 論文文やSPI試験はもちろん考えているが、関心のある学生と低い学生の差が大きい。だから熱心な学生にきちんと対応するのが先決だと考える。より関心の強い学生に濃いサービスをしたい。

田中室長 国際大はガイダンスや模擬テストの出席はそう悪くない。ここから先が問題。一流企業にチャレンジするのなら準備することがたくさんあるのにやらない学生が多い。保護者にも協力してもらおうことが大切で、いろいろな就職関連の発行物を送付している。

近藤室長 結局動くのは学生。我々はその道案内をしているのであって、学生自身が自ら頑張らないといけない。

―国際大でことしから「OIU就職ニュース」を発行されているが

田中室長 第1号は学生用。主に4回生。第2号は3回生および保護者の方に就職トピックスを伝える。今年度中間の内定状況も載っている。4回生にも自由に持っていつでも自由にしたい。年3回ぐらい発行を考えている。

―女子大の就職プロジェクトについて

近藤室長 女子大新学科の卒業生が出る前までに、学科の特性にあった求人を開拓したい。一方就職室は、大企業と併せ、中堅企業も開拓していこうと考えている。大阪に偏らず京都や奈良を開拓していく必要がある。こういったものを含めてプロジェクトを進めるよう提案している。

―長時間、ありがとうございます

直言



西川 浩司

歴史の証人

代表取締役 西川 浩司

私もが初めて、学園の仕事に参加させて頂いたのは、30年前の昭和42年のことです。

学園の設立とともに成長してきたクスノキの移植のお手伝いをさせて頂きました。当時の理事長の奥田政三先生の考えは、今後ベビーブームで学生も増え、校舎も建て替えていかなければならない。しかし、樹木は生き物で学園とともに成長し続けるので大事にしなければと緑を大切にされる方でした。

先代、先代理事長も昔から学園生活についてのキャンパスの重要性に着眼されていた。ただ大阪国際女子大学・短期大学は交通の利便性には

すぐれていますが、住宅地の中にキャンパスがありますので敷地の制限がありいつも頭を悩ませていました。

そして一つの転機が訪れたのが昭和59年のメモリアルホール工事です。この工事にあわせて中庭の改修を行い、新しいキャンパスの方向性の基礎ができました。大阪国際大学にも受け継がれました。しかし、新しいものだけではありません。この中庭に植わっているフェニックスも移植した歴史の証人です。

大阪国際大学では最初の計画から校舎だけでなく、キャンパス全体を通じてのアメニティを追求しています。前理事長奥田省吾先生は前々代理事長の緑への考えを継承し、且つ、視野を海外にまで広げ

た独自の緑への考えをお持ちでした。ただ、それらの考えを具体的に表現するために、前理事長との綿密な打ち合わせの末、現在の形になりました。

色々、新しいアイデアを盛り込んだキャンパスですが、一つ紹介すると、正面玄関を入り右側にある芝生は西洋種を使用し一年中緑が楽しめます。このような芝生はあまりキャンパスでは使われていませんが、前理事長はこの緑豊かなキャンパスが卒業生にとって第二の原風景となることを望まれていました。

奥田省吾先生が理事長に就任されたことで、大阪国際学園は新たな歴史を刻むことになりました。そして現在解体工事中の大和キャンパスの女子大・短大1号館の情報図書館棟への建設工事において、理事長は緑豊かなキャンパスを実現するために積極的にプロジェクトに参加されています。

10カレッジ、52学部 最も活力ある大学

提議校長 西川 浩司

《大阪国際大学》

中国語文化大学(台湾)

中国語文化大学は、中国の伝統文化を広めると共に、欧米の技術、社会科学のエッセンスを統合しようという試みから、62年に創設された大学である。現在では文学、外国語文学、理学、法学、農学、工学、商学、ジャーナリズム・マスコミ、芸術、環境設計など10のカレッジから成り、52の学部を有している。さらに大学院には28の修士課程、10の



台湾で最も活力のある中国語文化大学。緑に囲まれた環境にも恵まれている

博士課程があり、大学全体で2万1000名の学生が学ぶ台湾で最も活力ある大学である。

大阪国際大学と中国語文化大学の姉妹校提携は94年10月に結ばれ、翌年1月には同大学より交換教授が本学へ着任、また9月には交換留学生として2名の学生が本学留学生別科に入学して以来、毎年2名の優秀な学生を本学へ送り出している。近い将来には本学からの学生派遣などが実現し、相互の交流が生まれることが大いに期待されている。

(大阪国際大学国際交流課係長 松岡泰司)

留学生レポート

実り多かった留学

大阪国際大学 経営情報学部 4年次生 伊藤 公昭



私は、3回生の9月中旬から4回生の今年5月上旬まで、アメリカ・バージニア州のクリストファー・ニューポート大学に交換留学生として行ってきました。

この留学を自分の将来にとって価値あるものになるようにしたかったので、行く前に3つ目標を立てました。1つ、向こうの大学の授業の単位を欠かさずとる事。1つ、一般会話を習得できる様に努力する事。1つ、日本人以外で仲の良い友達を作る事。

帰国後、留学を振り返って見て、ほとんど自分の納得のゆくかたちで終了した事に対して、行って良かったという気持ちで一杯です。そして、上記の目標をほぼ達成しただけでなく、精神的なものも多く学ぶことができました。特に1番学んだ事は、何事も信念をもってやればできるという自信をつけた事です。

卒業後、社会人としての厳しさを味わっていくと思います。そこでいつでもアメリカでの生活を思い出しては、乗りきってゆきたいと思っています。最後にこのチャンスをくれた大学関係者と両親に対して、感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。('96年9月から'97年5月まで米国クリストファー・ニューポート大学へ交換留学)

大和田高校の文化祭と友達

Sarah Brebner



大和田高校を訪れた頃はちょうど文化祭の準備で大忙しで、私たちがそれを手伝って過ごしました。

そして文化祭当日。演劇や音楽演奏を鑑賞し、ディスプレイを見たり、ヨーヨー釣りなどのゲームをしたり、模擬店で日本の食べ物にもいろいろ挑戦しました。大和田高の生徒たちは皆とても親切で、ゲームの仕方を教えてくれたり、どれを食べたらいいか助めてくれたり、音楽演奏では(それはもちろん日本語なので)何をやっているか説明してくれたり。そしてテントの下でランチを食べ、新しい友人たちと生活様式の違いについて話しました。

お茶会やお花の作品も見せてくれました。お茶会は、お茶の味は苦手だったものの、日本の豊かな文化的伝統がわかる貴重な体験でした。お花は、私たちが後でやってみようとした、オーストラリアのアレンジメントとは全然違うものでした。日本のお花のスタイルは、庭園にも反映されていて、とても美しく、空間ともののバランスが注意深く保たれ、シンプルだけど美しい形と様式を作り上げています。

文化祭を通して、私たちは、先生方と友人たちの親切さに触れ、現代社会の習慣と、数百年前からのしきたりと伝統に触れました。日本人は両方を取り混ぜた複雑な文化を形成していることを知りました。('97年9月27日~10月25日 豪ジーロングラマースクールから交換留学)

大阪国際滝井幼稚園のメモリアルコーナー設置

滝井高の一角



平成8年に廃園になった大阪国際滝井幼稚園の思い出を集めて展示した「滝井幼稚園メモリアルコーナー」が、このほど設置された。同幼稚園は、昭和27年に帝国学園附属幼稚園として、帝国女子高等学校(現大阪国際滝井高校)の敷地内に開園。平成8年の廃園まで44年間に5000人以上の園児たちを育て送り出してきた。

メモリアルコーナーは、体育館棟1階の旧玄関内に約10平方メートルのスペースを設け、正面に奥田政三元園長(現学園名誉理事)の胸像、ショーケースにはアルバムや日誌、教材や制服など様々な品を展示している。

日進月歩の図書館情報化。大阪国際大、女子大、短大共、新しい機器を導入し、サービスの充実・向上に努めている。国際大では9月にマルチメディアコーナー(CD-ROMサーバーシステム)が開設された。『雑誌記事索引』と『判例体系』のCD2種を6人まで同時に検索することができるシステムで授業等に活用している。単体で使用する場合は100種以上のCDの利用が可能だ。

一方、女子大・短大でも9月より6連装のCD-ROM利用機器を1台設置。また、ビデオを52インチスクリーンの迫力で体験できる「グラスストロン」を試用ビデオデッキに接続している。

3大学の図書館情報化新機種を導入(二段の前進)

グローバルマインド賞

過去最多の974編 応募 最終審査会は12月17日

本年度で10回目を迎える全国高校生論文コンクール「グローバルマインド賞」(本学園、毎日新聞社共催)は、10月上旬に作品募集締め切り、昨年度を上回る974編の作品が送られてきた。本年からは新たに、文部省・大阪府・大阪府教育委員会の後援を戴き、さらに6月から大阪府を中心とした高校訪問、毎日新聞での全国に向けての募集広告が功を奏し昨年を上回る作品数が集まった。都道府県別には大阪府の312編を筆頭に、東京都(132編)・愛知県(64編)・福岡県(55編)と大都市圏の応募が2桁を数えた。審査は10月中旬から1〜3次

初の「枚方市内大学学長・市長懇談会」開催 パートナーシップ醸成を 国際大など6大学と市で確認



初の枚方市内大学学長・市長懇談会。今後も定期的に開かれる。

大阪国際大学など枚方市内の6大学と枚方市長が一堂に会する初の枚方市内大学学長・市長懇談会が10月27日開かれ、「学園都市ひらかた」の創造に向け大学と行政のパートナーシップを醸成するため定期的に懇談することになった。会場はメセナひらかたに集まったのは国際大の川又良也学長

ら市内にある6大学の学長(1人は10月28日付で学長就任)と中司 宏市長や2助役、教育長。事務レベルで準備を進めてきて、第1回目の懇談会になった。今後6大学と市長が定期的に懇談して相互理解と協力を図ることを申し合わせ、年1、2回は各大学持ち回りで開く。まず、今年度と来年度の4つ

のプロジェクトについて確認し合った。各大学は市の審議会委員等に教員を推薦するなど枚方市の政策形成に参画し協力するほか、大学の情報を積極的に市民に発信、また市民の生涯学習支援を強化。さらに大学図書館と市立図書館との連携システムを検討する。6大学の多様な学部が連携すれば一大総合大学となり、市の提唱する「学園都市ひらかた」づくりに向けて取り組む。

第11回 奥田メモリアルフェスティバル 「日本の心の歌」

秋の一大イベントである学園主催の奥田メモリアルフェスティバルが、11月7日に開催された。フェスティバルは、故奥田省吾前理事長が「地域に開かれた学園」を掲げてスタートさせたもので、今年で11回目。今回は「日本の心の歌」文部省唱歌からアニメ主題歌まで「おねえさん」等活躍した斉藤昌子さん(ソプラノ)をはじめ、

750人が感動

青島広志さん(構成・司会・ピアノ)、近藤 均さん(バリトン)出演によるクラシック音楽。午後6時半開演の2部構成で、歌のほか3人による小音楽劇も披露され、会場になごやかな雰囲気も漂った。近隣の方々ははじめ約750人で埋まったホールは、感動と興奮に包まれてコンサートが終わっても拍手が鳴りやまなかった。



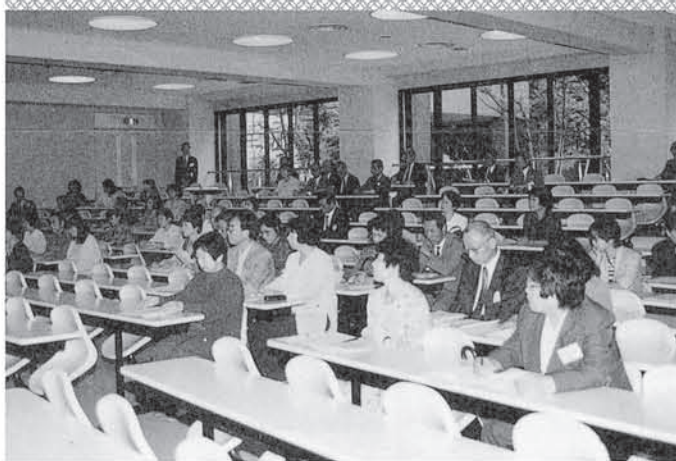
日本の心の歌を披露する斉藤昌子(中央)

平成9年度女子大学 外国人留学生特別奨学生

(7月31日)
史 凱麗▽許 莉▽蔣 敏▽唐 菱菱▽張 青▽楊 旭(以上スポー)

2回目の保護者懇談会に130人

女子大・短大 特別講演や就職説明会も



講演会に参加された保護者たち。メモを取るなど熱心な様子が見えた

女子大・短大では、昨年好評を得た「保護者懇談会」を9月27日に本学キャンパスで実施。130人の保護者に参加された。

懇談会は多彩な催しを通じて保護者に大学への理解を深めてもらい意見や要望を聞き、大学運営に反映させてより社会に開かれ

河合雄雄先生を迎え「生涯健康講演会」女子大・短大
女子大・短大の生涯健康研究所が11月27日18時から約2時間、一般市民も公開の第3回生涯健

康講演会を奥田メモリアルホールで実施。講師は、臨床心理学をベースとして幅広い分野で活躍している国際日本文化研究センター所長の河合雄雄氏。「現代社会と心の健康」をテーマに講演を行った。

学園マイクロバスを購入



学園マイクロバス

学園ではこのほど、29人乗りのマイクロバスを購入。学生・生徒や教職員の集団移動の利便を図るため、クラブ活動などにさっそく活用されて好評。車体はロイヤル・グリーンで、「大阪国際大学」の文字が入り、さらに利用のために大学や高校名のマグネット式プレートを入れかえる。マイクロバスは活用するほどに「走る広告塔」の役割を担う。

た大学づくりを目指すもので、2回目。「就職説明会」には、リクルート関西支社の井田憲作氏を講師に招いて、「就職協定」廃止後の就職環境」をテーマに講演。また、短大国際文化学科の瀬



記念式典のあと祝賀会で交歓する三窓会の皆さん

大和同窓会「三窓会」 盛大に35周年記念式典

大和同窓会の同窓会「三窓会」が11月9日、同窓会35周年記念式典並びに祝賀会を開いた。記念式典が奥田メモリアルホールで11時から約1時間、ブラバンド部の演奏など交えて開かれ、そのあと食堂へ移動して祝賀会が盛大に行われた。当日は約200人の同窓生が出席し、先生や友人との再会を懐かしんだ。

クラブ活動

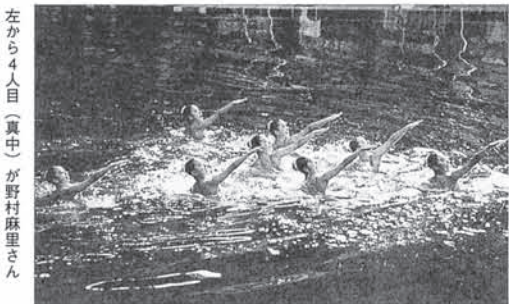
- 国際大
・11/11 第14回西日本大学軟式野球選手権大会 準優勝
・11/19 26 全日本選抜台湾親善軟式野球大会 小林和哉(政経4)と林 昌登(経経3)が2年連続出場
女子大・短大
・9/15 第52回国民体育大会なみはや国体テニス男子シングルス優勝 柿本あゆ美(女子大4)・伊藤友美(同4)・山田貴子(同4)・長谷部利香(短大2)組
・9/15 第44回大阪府私学総合体育大会 準優勝
・9/15 第50回大阪府私学秋季選手権大会 優勝
・11月 第26回大阪府私学秋季大会(3月の全国選抜大会に出場)
なみはや国体
大阪府代表
テニス成年女子1足立守世(短大1)・山田恵都子(同家政1)・足立は監督兼選手
ソフトボール少年女子1西村亜耶(フェリス高3)・宮村美紀(井路端 綾(以上上滝高3)▽監督に宮下節子(同教諭)
お詫びと訂正
第16号で滝井高校フェリス高部の宮村美紀さんと道端亜由美さんの学年が2年と記載しましたが3年の誤りでした。お詫びし、訂正いたします。

全国大会で初優勝 短大ソフトボール部

全国レベルの力を持つ女子大・短大ソフトボール部が、8月26日から28日の3日間、日本体育大学深沢グラウンドで行われた「第3回全日本女子短期大学ソフトボール大会」で見事優勝を飾った。大会は全国から17校の短期大学が参加、本学は2回戦で、強豪の東京女子体育短期大学を2、1で下し、勢いにのり優勝を収めた。これまで全日本選手権でも優勝しているがこの大会は初めて、強豪を倒しての優勝だけに、喜びもひとしお。

また、8月8日から10日にかけて熱戦が繰り広げられた「文部大臣杯第32回全日本大学ソフトボール選手権大会」でもベスト8に進出し、輝かしい戦績を残した。

- フェリス高部
・8/31 インターハイ団体戦 2回戦敗退
ソフトボール部
・7/21 22 近畿大会 ベスト8
・8/11 第44回大阪府私学総合体育大会 準優勝
バレーボール部
・7/22 24 近畿大会 ベスト4
大和同窓会
吹奏楽部
・7/29 大阪府吹奏楽コンクール南地区大会小編成の部優秀賞
ソフトボール部
・8/11 第44回大阪府私学総合体育大会 優勝
・9/15 第50回大阪府私学秋季選手権大会 優勝
・11月 第26回大阪府私学秋季大会(3月の全国選抜大会に出場)
なみはや国体
大阪府代表
テニス成年女子1足立守世(短大1)・山田恵都子(同家政1)・足立は監督兼選手
ソフトボール少年女子1西村亜耶(フェリス高3)・宮村美紀(井路端 綾(以上上滝高3)▽監督に宮下節子(同教諭)
お詫びと訂正
第16号で滝井高校フェリス高部の宮村美紀さんと道端亜由美さんの学年が2年と記載しましたが3年の誤りでした。お詫びし、訂正いたします。



左から4人目(真中)が野村麻里さん

モスクワで6月24日から7月3日に開催されたシンクロロナイズド・スイミングの「第5回FINAシンクロジュニア世界選手権」で、滝井高校3年の野村

野村さん(滝井高)堂々の2位

シンクロジュニア世界大会

麻里さんがチーム種目で見事2位を収め、世界に名を轟かせた。野村さんは、日本水泳連盟から代表選手に選ばれ今大会に出場。これまでに2年連続で全国ジュニアオリンピックチームの部で優勝するなど数々の輝かしい成績を持つ実力者。しかし世界大会という緊張とプレッシャーにもかかわらず、堂々の2位。優勝こそ逃したものの、完全燃焼した野村さん、生涯忘れられない大会となった。

滝井高校には野村さんの先輩にあたる友松悦子さん(昭和60年に第39期生として当時の帝国女子高校に入学)が3年の時にナショナル代表チームに選ばれ、スペインで行われたシンクロ国際大会で優勝を遂げている。



飲みます

意義ある“無駄”のススメ

コンピュータが大嫌いで、日本橋を徘徊しているパソコン少年達を片っ端から大阪湾に沈めてやろうと心に誓っていた熱血漢の僕が今、なぜかソフトハウスを経営している。

在学中は、自動二輪部に所属。学業よりモトクロス(全日本・近畿選手権への参戦)が最優先。残りの時間は大酒飲んで喋って人脈を広めることに専念していた。もちろん就職活動などしていない。卒業式の2日後にはレースで肋骨11本骨折、肺と肝臓破裂という瀕死の重傷を負い即日入院、その後奇跡的な回復をとげた僕は病院から酒場に通い、朝帰りしては点滴を受け、1日中寝る日々を過ごす。退院後、アタマを青く染めて震災家屋解体の作業員をしていた僕に『おまえに会わせたいやつがおるんや!』と病院時代の脱走仲間、元コンピュータ屋のオッサンが熱心に転職をすすめ、紆余曲折あり、現在に至る。

現在は、O I U同窓生の船本(写真左)たちと流通販売系のWindows関連ソフトを主に開発しているが、本当はグラフィックスなどで10代の頃からの夢であった映画の仕事をしたい。そのためには寝る時間も惜しまないし、アホほど働く。ソフトハウスは仕入がなくて経理が楽だから(経理も楽じゃないヨーン!船本の弁)、とりあえずやっているだけ。次は焼き鳥屋のチェーンをやるつもりだ。

こう書いてしまうと、『人生は、ネタナリ』という感じでアホ丸出しであるが、今までやってきた“人生の無駄”の中で培ってきた人脈が今僕を助けてくれている。学生時代は、人生で一番大切な“無駄”が許される数少ない時間である。所詮世の中人間同士の付き合いなので、有意義な無駄を体験して、人が寄ってきてくれるような魅力ある人になって下さい。きっとその方が人生楽しい。少々の事では命まで取るとは言われん!

大阪国際大学(経営情報学部94年卒)

(有)トークシステム 代表

平木 暢人(写真右)

OB・OGレポート

帝国女子大で学んだ基礎

卒業後は、大学の推薦で、私立高校の家庭科教師として社会人の第一歩を踏み出しました。とてもやりがいのある仕事でしたが、結婚退職し、やがて母となりました。

育児に専念する中、ふと「私はこのままでよいのだろうか」と感じる瞬間がありました。そんな時、公立高校の非常勤講師として社会復帰する機会を得、少しずつ自分自身の時間を取り戻して行きました。その中で、今までとはちがった方向への勉強意欲が生まれ、仏教大学の通信課程で他の教員免許状(英語・幼稚園)を取得しました。

欲張りかもしれませんが、もっと自分をみがきたくなりもう一度本格的に勉強を始めようと、昨年立命館大学法学部に社会人入学しました。帝国女子大学で取得した一般科目20単位分の認定をうけ、余裕をもって専門科目の勉強を進めています。将来的には司法試験に挑戦しようと考えております。

今日の私があるのは、帝国女子大で学んだ基礎があるからこそと感じ、御無沙汰しております諸先生方にこの場をお借りし御礼申し上げます。

帝国女子大学(現大阪国際女子大学) 家政学部食物学科83年卒
立命館大学法学部2年生
松尾 博美

キャンパス周辺散歩

守口市市民保健センター

健康で明るい生活を送りたい。はだれにも共通する願い。守口市にこし7月1日にオープンした市民保健センターは、市民の多様化するニーズに応えるため、保健・医療・福祉の体系的サービスを提供する拠点施設で、センターはお年寄りから赤ちゃんまで健康づくりに励む人々にぎわっている。

同市には全国に先駆けて設けられた旧市民保健センター(昭和45年建設)があったが、高齢化に伴って寝たきり老人や痴呆性老人など要介護老人の増加が予想されるほか、これまでの感染病中心から成人病へと疾病構

保健・医療・福祉の体系的サービス拠点

7月オープン



健康づくりに励む市民に好評のセンター

いることから新市民保健センターを建設、今後の街づくりの中心核施設と位置づけている。

守口市大宮通1丁目13番7号の約6,500平方メートルの敷地に鉄骨・鉄筋コンクリート造地下1階、地上4階建て。1階はマデイサ一ビスセンター▽休日応急診療

所▽訪問看護ステーション、2階はセンターの中心的機能である健診フロアで、市民総合検診や各種がん検診、公害認定患者の検査などを実施。3階は健康づくりフロアで、診察結果に基づく運動や食事作り、生活習慣改善指導を行っている。また、

女子大国際コミ1回生 木村さん 英語コンテストで大阪市長賞



木村なお子さん

大阪・サンフランシスコ姉妹都市協会など主催で10月5日開かれた「第1回英語スピーチコンテスト」で、女子大国際コミュニケーション学科1回生の木村なお子さんが見事大阪市長賞を受賞した。このコンテストは国際社会のコミュニケーションに欠かせない英語を通して、若者の自己表現を競うことにより、国際間の相互理解、友好親善の増進に役立てようとするもので、高校生・大学生を対象に大阪市の後援で開催している。今回大学生の部には18人が出場し、木村さんは「Korea is my friend」をタイトルにスピーチを行った。「オーストラリアにファミリーステイがしたかった」という木村さんは更に特別賞として、来

資格取得者紹介 (敬称略)

- 国際大 第1回英検2級合格者 4人
- 女子大・短大 第1回英検2級合格者 10人
- 第60回TOEIC公開試験(7月20日実施) 18人中40点以上は12人。550点以上は次の通り。
 - 女子大コミ3 古賀みほ
 - 同4 岸田祐子
 - 短大英語2 野嶋なつき
 - ▽白藤ゆかり
 - ▽同国際2 大谷みどり
- 第28回バーンナルコンピュータ利用技術認定試験3級合格者(7月13日実施) 短大国際2 岩間由利子
- ▽江見綾子
- ▽大西美奈子
- ▽小倉彩佳
- ▽正山友紀
- 第20回ワープロ検定2級合格者 短大国際2 只腰紋子
- 第52回秘書技能検定準1級合格者(6月22日実施) 短大国際2 只腰紋子
- 同2級合格者 76人
- 滝井高校 第1回英検2級合格者 3年生 尾谷あゆみ
- ▽山下佳織
- ▽田部なお美
- 大和田高校 第1回英検2級合格者 3年生 西森恵里
- ▽東出和子
- ▽松井優理子
- ▽早出弓美



『あゝ南壁』 第二次RCC エベレスト登攀記

藤木 高嶺著 (大阪国際女子大学 人間科学部教授)



中央公論社・中公文庫 (660円・255頁)

緻密に観察・記録している点はジャーナリストとしての本領を十分に発揮している。

四ヶ月に亘る活動の記録の中には、現地を知らずに批評活動

の高度順応に至るまでの赤血球数の変移などに関する記述は非常に参考になる。カラーを含めた五十枚近くの写真が挿入されているのも、世界の最高峰エベ

である。この間の記述は、もはやジャーナリストとしての藤木ではなく、アルピニストとしての藤木となり、そしてノンフィクション

レストを身近に感じさせる。そして、何よりも読者をひきつけるのは、アイスフォール崩壊の場面と、二人の隊員による東南稜ルート登頂達成直後から、酸素欠乏による失明状態での下山に至るまでの記述だろう。ポスト・モンスターの登頂の厳しさが手に取るようにわかるのである。

本書は一九七四年、朝日新聞社より出版され、この度、中公文庫から再び世に出たものである。今やエベレストは制覇され、今こうしてエベレスト登頂のゴールデンタイムであった頃を振りかえる時、「あゝ南壁」の「あゝ南壁」に記された登攀隊員らのその後の人生記述に何かを感じるのは評者だけではないだろう。

(評者・大阪国際女子大学人間科学部 国際コミュニケーション学科 助教授 山本和子)

平成10年度

入試日程

学生・生徒募集要項

大阪国際大学	選考種別		出願期間	選考日	合格発表	入学手続期間
	大学院修士課程	二次	平成10年 2月 5日(木) ～ 2月12日(木)	2月20日(金)	2月24日(火)	2月25日(水) ～ 3月 3日(火)
	大学院博士(後期)課程		平成10年 2月 5日(木) ～ 2月12日(木)	2月20日(金)	2月24日(火)	2月25日(水) ～ 3月 3日(火)
大阪国際大学	選考種別		出願期間	選考日	合格発表	入学手続期間
	一般入学選考	一 次	平成10年 1月 8日(木) ～ 1月23日(金)	政 経 学 部 2月 5日(木) 経営情報学部 2月 6日(金)	2月18日(水)	2月19日(木) ～ 2月25日(水)
		「センター試験」選考	平成10年 1月13日(火) ～ 1月27日(火)	独自試験は行わない		
	二 次		平成10年 2月19日(木) ～ 3月 3日(火)	政 経 学 部 3月11日(水) 経営情報学部 3月12日(木)	3月18日(水)	3月19日(木) ～ 3月25日(水)
	留学生入学選考		国際交流課までお問い合わせ下さい			
大阪国際女子大学	選考種別		出願期間(必着)	選考日	合格発表日	入学手続期間(必着)
	帰国生徒入学選考		平成10年 1月19日(月) ～ 1月29日(木)	2月 5日(木)	2月12日(木)	2月13日(金) ～ 2月20日(金)
	一般入学選考Ⅰ期	奨学生入学選考:平成10年 1月19日(月) ～ 1月29日(木)	2月 5日(木)	2月12日(木)	2月12日(木)	2月13日(金) ～ 2月20日(金)
		平成10年 1月19日(月) ～ 1月29日(木)	2月 5日(木) ☐ いずれかを選択 2月 6日(金) ☐			
	一般入学選考Ⅱ期		平成10年 2月16日(月) ～ 2月25日(水)	3月 2日(月) ☐ いずれかを選択 3月 3日(火) ☐	3月 8日(日)	3月 9日(月) ～ 3月16日(月)
	留学生入学選考		国際交流課までお問い合わせ下さい			
大阪国際短期大学	選考種別		出願期間(必着)	選考日	合格発表日	入学手続期間(必着)
	一般入学選考		平成10年 1月19日(月) ～ 1月29日(木)	2月 3日(火) ☐ いずれかを選択 2月 4日(水) ☐	2月12日(木)	2月13日(金) ～ 2月20日(金)
大阪国際滝井高等学校	選考種別		出願期間	選考日	合格発表	入学手続期間
	普通科	アカデミックコース (標準)	平成10年 1月26日(月) ～ 1月31日(土)	2月 5日(木) 2月 6日(金)	2月 9日(月)	2月16日(月)
		グローバルコース (国際) エクセレントコース (特進)				
大阪国際大和田高等学校	普通科	普通コース 英数コース	平成10年 1月26日(月) ～ 1月31日(土)	2月 5日(木) 2月 6日(金)	2月 9日(月)	2月12日(木)
大阪国際大和田中学校	一 次		平成10年 1月 7日(水) ～ 1月13日(火)	1月15日(木)	1月17日(土)	1月20日(火)
	二 次		平成10年 1月16日(金) ～ 1月24日(土)	1月25日(日)	1月27日(火)	1月29日(木)

知恵を絞った活動成
果が問われる本番へ

両大学の入試の取り組み

本年度も募集活動としては、学校訪問、本学主催入試説明会、業者相談会参加の3本柱です。最近の女子の相談者が増えてきており、今後本学として女子にどのような魅力をもたせるかが課題でもある。

学校訪問では、地方での学校訪問はできる限り主催説明会、訪問はできる限り主催説明会、

ホームページで便宜国際大

業者説明会の前後に行うようにして効率的な訪問を行っている。訪問校数は9月末迄で1617校に達し、昨年度を上回るペースで進んでいる。

推薦入試については、一般入試へのシフトをとる学校が増えているが、ただ商業高校等専門高校では本学の資格重視の推薦方式は非常に好評である。



平成10年度の女子大・短大推薦入試を受ける高校生ら(11月12日)

大阪国際学園
CALENDAR

大阪国際大学	
大学院 経営情報学部・政経学部 留学生別科	
12.19	冬期休暇前授業終了
12.22	後期補講
12.24	集中講義(～26)
平成10年	
1. 8	後期補講
1. 9	冬期休暇授業再開
1.30	後期授業終了
1.31	留学生別科修了式
2. 2	後期補講(～3)
2. 9	後期試験(～20)
2.23	集中講義(～27)
3. 2	後期追試験(～3)
3.25	卒業証書・学位記授与式

大阪国際女子大学	
人間科学部コミュニケーション学科・人間健康科学科 国際コミュニケーション学科・スポーツ行動学科	
大阪国際女子短期大学	
家政科・幼児教育科・国際文化学科	

12.22	後期中断
12.24	集中講義・補講(～26)
平成10年	
1. 7	集中講義・補講
1. 8	後期再開
1.19	後期終講
1.20	後期試験(～2/2)
2.12	追・再試験(～17)
3.18	卒業証書・学位記授与式
3.19	卒業証書授与式

大阪国際滝井高等学校

12.10	期末考査(～16)
12.24	終業式、スキー実習(～29)
平成10年	
1. 8	始業式、カルタ会
1.31	3年授業終了
2.20	1、2年マラソン大会
2.27	卒業式
3. 3	学年末考査(～7)
3.24	終業式

大阪国際大和田高等学校
大阪国際大和田中学校

12. 5	期末考査(～10)(高校)
12. 5	期末考査(～ 8)(中学)
12.22	終業式
12.24	スキー講習(～28)
平成10年	
1. 8	始業式
1.17	カルタ会(高校)
1.22	カルタ会(中学)
1.31	3年授業終了(高校)
2.12	英語暗唱大会(中学)
2.28	卒業式(高校)
3. 3	学年末考査(～7)(高校)
3. 5	学年末考査(～7)(中学)
3.16	卒業式(中学)
3.19	終業式
3.21	3年オーストラリア修学旅行(～4/1)(中学)

大阪国際大和田幼稚園

12.12	参観日(音楽会)
12.22	終業式
平成10年	
1. 8	始業式
2.21	参観日(年中、年少)
2.24	生活発表会(劇あそび)
3.18	保育修了式
3.20	終業式

ヘッドラインニュース

7/9 滝井高	インターハイ出場クラブ社行会(フェンシング部)
7/11 短大	幼児教育科が課外講座「国際幼児教育Ⅰ」、講師は神戸アジア保育交流協会長の箕浦志保氏(テーマ「国際化の中でのこどもたち」)
7/12 国際大	平成8年度後期留学生別科生修了式・単位認定書授与式及び修了パーティー(修了者7人、単位認定書受領者1人)
7/15 国際大	大阪府立高等学校長協会進路指導委員会の本学訪問(進路指導委員の校長22人が訪問)
7/15 短大	1号館取り壊しに伴い、305教室で最後の授業として、家政科の大浦安弘教授が特別授業
7/16 短大	幼児教育科が「第15回ジョイフルコンサート」
7/17～19 短大	幼児教育科が「キャンプ実習」(府立総合青少年野外活動センター)
7/19～8/21 女子大	人間健康科学科「平成9年度スポーツ・健康学群における海外研修」
7/22 女子大・短大	教職員現地学習会(部落解放同盟大阪府連合会夜屋川支部)
7/31 女子大・短大	1号館解体に伴う「安全祈願祭」
7月 学園	学園理事の藤井兼六氏、豪政府から日本の勲二等に当たるA.O勲章を受章
8/1 短大	幼児教育科が「第10回記念現職研修会」
8/1、2 女子大・短大	「国際幼児教育学会第18回大会」会場
8/8 国際大	夏休み特別企画「学研都市キャンパス探検隊」(J.R西日本篠山口鉄道部主催)
8/10 短大	幼児教育科が「ひまわりコンサート」(守口老人保健施設ラガール)
8/29 滝井高、大和田中・高	夏期教職員研修会(講師に学校法人清風学園・清風南海学園理事長の平岡英信氏)
9/1、2 女子大・短大	学外合同懇談会(しあわせの村)
9/14 女子大・短大	オープンキャンパス(870人が来場)
9/18、19 女子大	スポーツ・健康学群国内研修「生涯健康に関する初期体験学習」(しあわせの村)
9/18～20 短大	幼児教育科が「レクリエーション実技研修」(ホテルグリーンプラザ東条湖)
9/19～10/31 女子大・短大	(財)守口市文化振興事業団との共催による公開講座(守口市生涯学習情報センターMOVE21)
9/24 国際大	平成9年度後期入学生留学生別科生入学宣誓式、27名が入学
9/26 国際大	「第177回国際人権規約連続学習会」で小寺初世子政経学部教授がコーディネーター(部落解放研究教育センター)
9/30 国際大	平成9年度卒業証書・学位記授与式(大学院1人、経営情報学部1人、政経学部3人が卒業・修了)
9/30 短大	9月卒業証書授与式(家政科2人、英語科1人が卒業)
10/1 国際大	富山 茂経営情報学部教授の論文「会計システムと監査証跡の信頼性にかかわる一考査」が、日本内部監査協会の「青木賞」を受賞、富山教授がその記念式典とパーティーに出席(東京国際フォーラム)
10/4 短大	幼児教育科「自然体験実習」(神戸市立王子動物園)
10/4 大和田高	2年生進路講演会(講師は河合塾西日本進学推進本部係長の船津昌巳氏)
10/17 女子大・短大	国際文化学科が「航空業界論」講演、講師にルフトハンザドイツ航空マネージャーの山下謙次氏(テーマ「関西国際空港の現状」など)
10/17 女子大・短大	家政科「課外講座」、講師にMAZIアカデミーウーマンライフアドバイザーの吉野喜美子さん(テーマ「女性とキャリア開発」)
10/18 国際大	国際女性法学会主催の「改正男女雇用機会均等法を話し合おう」で、小寺初世子政経学部教授がコーディネーター(尼崎市女性センター)
10/19 短大	幼児教育科1、2年生12人が「第6回門真ちびっこまつり」でボランティア(弁天池公園)
10/24 国際大	学友会体育会が講演会、講師はソウル五輪100m背泳金メダリストで順天堂大学講師の鈴木大地氏(テーマ「試合に向けてのコンディショニング作りについて」)
10/25 国際大	キャンパス見学会(161人が来場)
10/30 国際大	人権教育講演会、講師にNHK解説委員の福田雅子氏(テーマ「国連人権教育の10年」)
10/31 短大	幼児教育科が課外講座、講師に木の実幼稚園園長の今川公平氏(テーマ「オーストラリア・シドニーを事例とした幼児教育の現場における国際感覚の理解」)
11/1 短大	蜂谷葉子非常勤講師が、「ピアノリサイタル」に出演(京都・青山音楽記念館)

教職員あげての学校訪問も短女子大

4月、入試対策本部(本部長・三木学長、副本部長・建部学部長、大浦短大部長)が新たなスタートを切った。4月から8月にかけて、募集広報・マーケティング戦略等の「対策会議」が十数回にわたって開かれ、その間、5月には今年度入学者、受験校

9月のオープンキャンパスでは、900名近い参加者(昨年は620名)があり、同時期に行った「推薦対策講座」には約400名の受験生が出席。こうした活動が今後学生確保にどのような結果をもたらすのか、まさにこれからが正念場といったところ。募集広報戦略、戦術、マーケティング等決して充分なものとはいえないが、データ分析に基づく募集活動では、「PLAN」から「DO」への活発な動き、「全教職員あげての学校訪問」が大きな強みとなっている。

短女子大

教職員あげての学校訪問も短女子大

全般的に女子大、短大が入学

大阪国際女子大学・短期大学
入試室長 武内 一雅

遂に囲碁高校チャンピオン

ひと 昨年の悔しさバネに 2連覇にかかる期待



大和田高校2年
山本浩世さん

「夢は女流棋士」そうきつぱりと話すのは、大和田高校2年の山本浩世さん。7月28日から30日、東京・日本棋院で開催された「第21回全国高校生囲碁選手権大会」で見事優勝を成し遂げた高校チャンピオンである。昨年は、同大会の出場権を手にながら大会前日に病気にかかってしまいが、急きょキャンセルしたことがあり、今大会にかける意気込みははかり知れないものがあった。

小学校で全国6位、中学校では3年連続全国大会出場の実績を持つ山本さんは、大会前から優勝候補筆頭の選手からマークされていた。「プレッシャーで負けるかな」と弱気になったが、ボクシングのテレビ観戦で挑戦者が「チャンピオンになるには常に

チャレンジャーの精神でいること、目の前の一人ひとりを倒していくだけ」とキツぱり切ったせいで感銘を受けた。昨年の分まで頑張ろう」持ち前の負けん気で堂々の優勝を飾り、初の栄冠に輝いた。

山本さんが囲碁と出会ったのは小学4年の時、父親の影響で始めたの

がきっかけで、すぐに興味を持ち、以来毎日、碁会館に通うようになった。高校に入るまでは一日平均6時間練習したこともあって、メキメキ力をつけていき、現在6段、相手の二、三十手先まで読める。「負けたくないために練習すること」素質はもともと、努力を欠かさない山本さんは、現在も週2回2、3時間は碁会館に通っている。練習量も大切だが、強さの秘訣は試合後の反省にある。「勝っても負けても常に反省」をモットーに、食欲に上を目指している。

囲碁のことにすると目の色が変わる山本さんが、普段はカラオケ好きの女子高生。学校のフットボール部で、ボーカルも担当している。

来年3年生になる山本さんは、「もちろん囲碁は続けるが、勉強との両立を目指したい」と大学進学を希望。大学生の女流棋士がおり、彼女の励みになっている。

当面の目標は「全国大会の最高の舞台で、もう一度優勝すること」。来年行われる大会で、2年連続の栄冠をねらう彼女は今後、高校最後の大会に向け全力を注ぐ。ぜひ、2連覇の快挙を成し遂げてほしいもの。

国際大恒例の国際シンポジウム

『ベトナムとミャンマーASEAN10の中堅国』をテーマに

と訴えた。

次いで西沢信善神戸大教授の「ミヤンマー成長への離陸」。

同教授はアジア経済研究所研究員などを歴任

され、「ミヤンマー経済入門」など著書多数。88年

樹立のSLORC(国家

法秩序回復評議会)政

権下の政治と経済を概

観したあと、市場経済

化への道を論じているが、

欧米諸国の経済制裁に

よって経済が停滞してい

る現状を紹介。貿易振

興や外資の受け入れな

どさまざまな改革を行

っているが、インフレ進

や財政赤字(二重為替レ

ートなど多くの問題を



西沢教授の講演

好天にも恵まれ、華やかだった大学祭

学生・生徒たちが主役の秋の一大イベント、大学祭、文化祭がそれぞれ行われ、地域住民や父母らも多数参加されて各キャンパスは終日祭りムードで盛り上がった。



模擬店が立ち並び、学生や近隣の学生にぎわった(国際大)

10回目のテーマは「心あれ」(国際大)

大阪国際大は11月2、3日に大学祭を開催。10回目の記念すべき節目を迎えた今年のテーマは「心あれ」。

絶好の秋日和となった2日間、模擬店や植木市、フリーマーケットでキャンパス内はにぎわい、学生たちの歓声が響きわたった。また、地域住民らの姿も目立ち、二層盛りあげた。

学祭に先立って1日には、ソフボール大会が行われ参加した学生、教職員らは夢中でボールを追いかけ、白熱した試合が繰り広げられた。

2日には厚生棟2階で同窓会「第3回同窓生の集い」が開かれ、約30人の卒業生が出席した。また、集いに向けて初の同窓会報を発行、出席者に配布するとともに会員に発送する。

個性を美しく、輝かせて(女子大・短大)

大阪国際女子大・短大では、一人一人の個性をいかに美しく、いかに輝かせるかと言う意味を込め「BE COLORFUL」をテーマに、優花祭'97を10月25、26日に開催。



模擬店に負けないくらい好評だったフリーマーケット(女子大・短大)

今年は1号館(東半分)解体のため、東側の中庭が使用できなかったが、それでも西側の中庭、メモリアルホールやイベントホールで模擬店、ライブやフリーマーケットなどがにぎわい、例年と同様の盛り上がりを見せ、キャンパス内は熱気に包まれた。

また、体育館では、恒例の学長杯バレーボール大会やウルトラクイズなどが行われ、学生達の歓声が響いた。

PTAもバザーに参加(大和田中・高)

大和田中・高校では9月20、21日に文化祭を開催。今年度のテーマは「和」。平和と調和をモットーに、クラスごとに力を合わせて作った立て看板をグラウンドに飾った。

クラスやクラブによる展示や舞台発表のほか、有志によるバンド演奏、またカレライスなどの模擬店も出て校内は生徒らでにぎわった。

今年はPTA父母らにもバザー部門で参加を頂き、恒例の生徒会バザーとあわせてにぎわいを見せ、生徒、保護者、学校が一体となった文化祭となった。

第2回人間フォーラムは「スポーツ新潮流」

伊藤みどりさんらを招く(女子大・短大、読売新聞社主催)

迎えてのバネデイスカッション。瀬地山澤子大阪国際女子短期大学助教授がコーディネーターを務めた。

メキシコ五輪の体操選手で出場、翌年の全日本選手権で個人総合優

会場の人々を引き付けた。

第2部は▽朝日生命体操クラブの塚原千恵子女子監督▽元全日本女子バスケットチーム主将の原田裕花さん▽キャスターエッセイストの福島敦子さん▽大阪国際女子大学短期大学の三木正伸学長をパネリストに

勝った塚原さんは、世界体操界は15歳ぐらいが活躍の中心だったが、見直す動きがあり、20歳ぐらいになってきたと紹介。そして自らは現役時代に出産、子育てで苦労したこと、強調。原田さんは8歳でバスケットを始め、昨年のアトランタ五輪で7位入賞されたのは記憶に新しい。選手時代はケガに悩まされ、8回も手術したが「入院中、重病人から逆に励まされ、それをバネに頑張った」と語り、「楽しくスポーツとつき合うなかで、感動や人との交流を味わった」と訴え、NHKのニュースキャスターなどで数多くの流選手に接してきた福島さん、「いま、世界のスポーツ界で日本の女子選手が大健闘。日本女性のひたむきさ、忍耐強さ」といながら、より活躍するための環境整備を指摘。三木学長は、いまも競技ダンスをしている経験から、「ダンスは老若男女が楽しむもの。いま、世代を超えて共に汗するスポーツが求められている。スポーツとは文化、生活の必需品、ファッションであり、人と人とのコミュニケーションのツールだ」としめくくった。



みんな力を合わせ生徒ら。もちろん味も最高(大和田中・高)